

社会資本総合整備計画(第4回変更)

平成27年2月2日

かながわけん おだわらし
神奈川県 小田原市

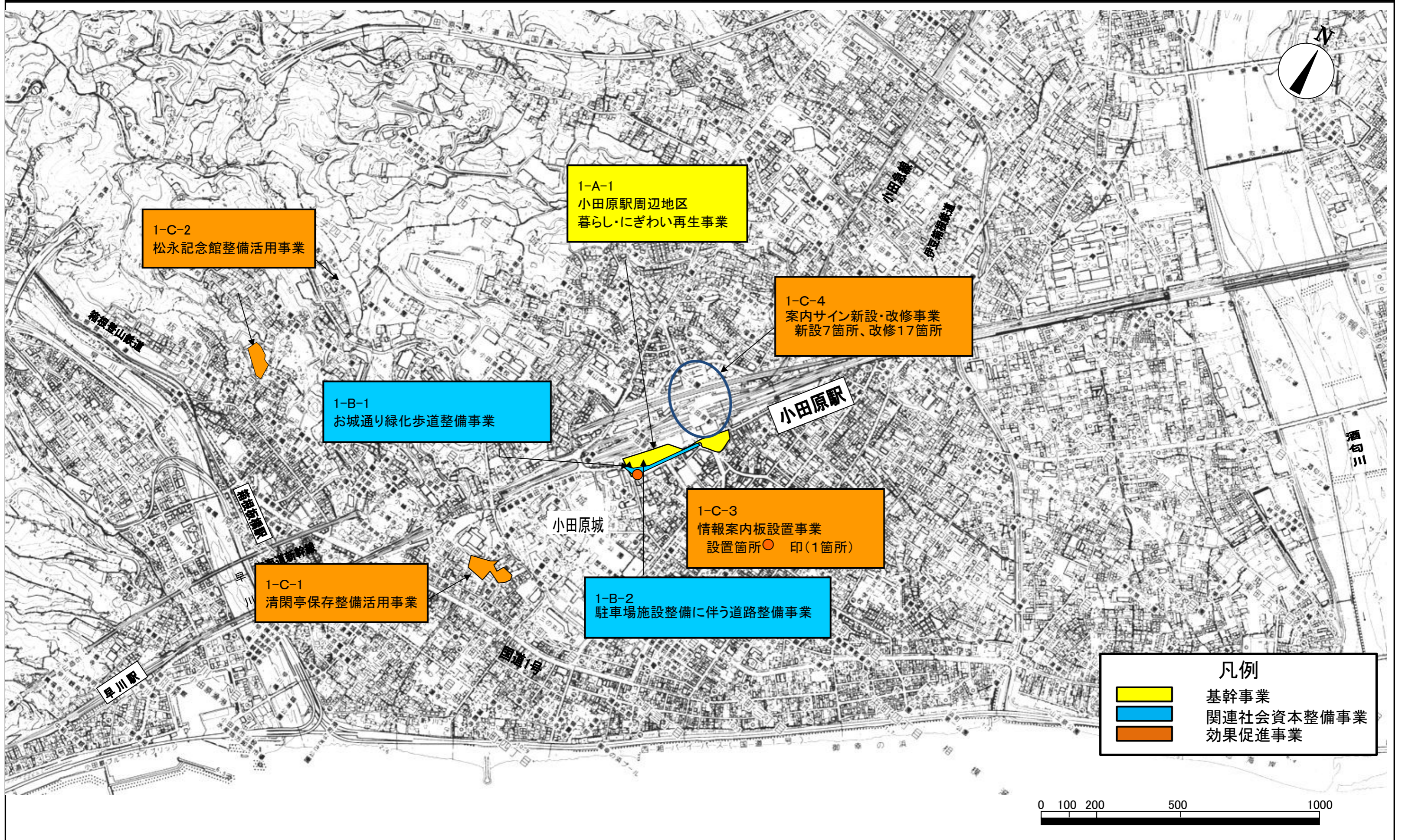
社会資本総合整備計画

平成27年2月2日

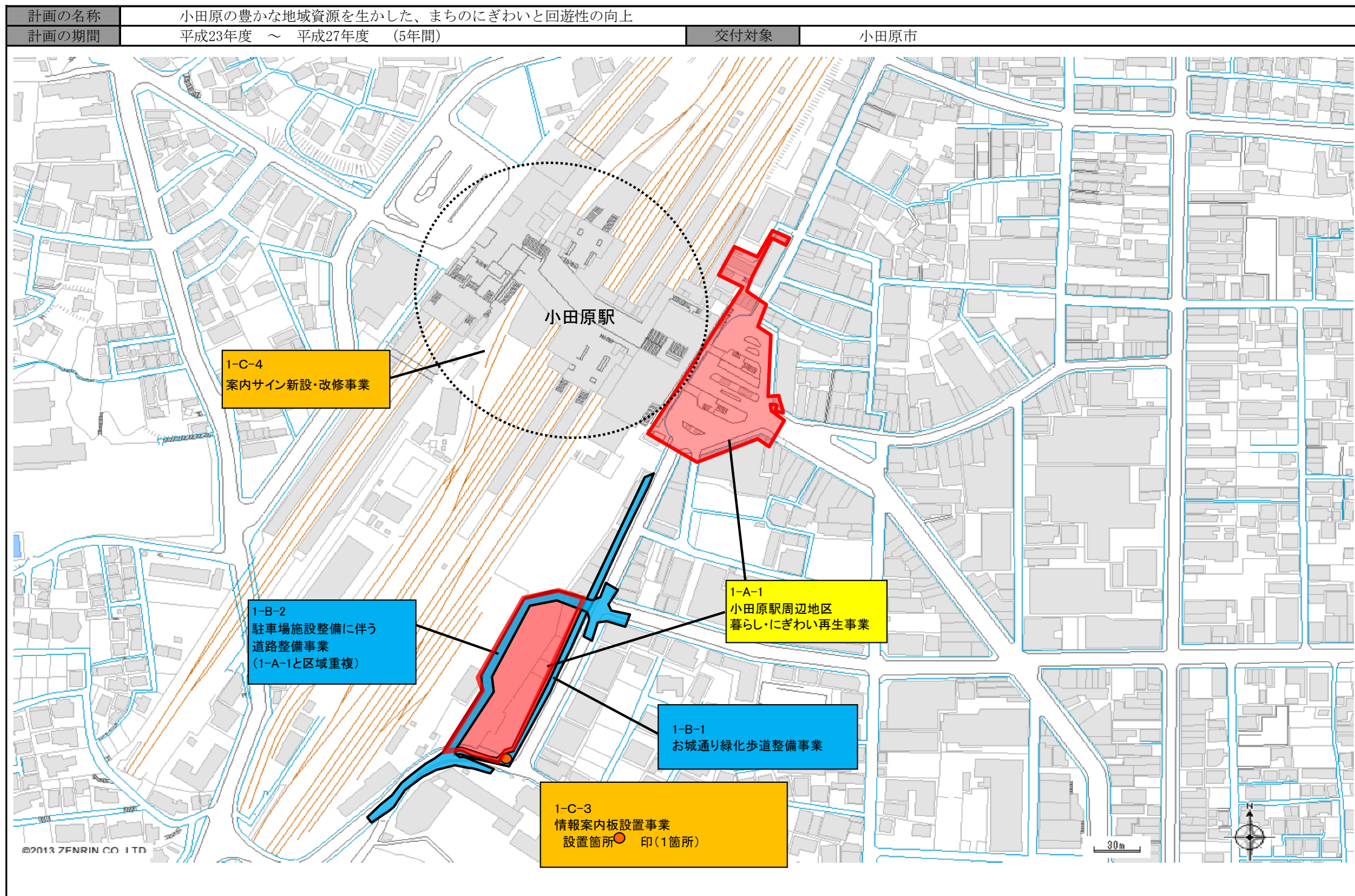
計画の名称	小田原の豊かな地域資源を生かした、まちのにぎわいと回遊性の向上																																	
計画の期間	平成23年度～平成27年度（5年間）					交付対象	小田原市																											
計画の目標	計画地域一帯は、城下町としての豊かな歴史と文化を背景に、小田原駅という近代交通の要衝を擁し、社会経済や観光の一大拠点として栄えてきました。しかし、近年は、中心市街地の空洞化等の課題を抱え、まちのにぎわいにも影響しています。地域の活性化には、これまでも様々に取り組んできましたが、本計画により、地域の豊富な長所を生かしつつ、中心市街地の都市機能の充実を図ることで、より多くの人々が訪れ、回遊し、魅力の感じられるまちづくりを目標とするものです。																																	
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> 計画地域一帯に所在する関係観光施設の入込観光客数の増加 中心市街地の流動客数の増加 小田原駅の乗車人員数の増加 																																	
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H23当初)</th> <th>中間目標値 (H25末)</th> <th>最終目標値 (H27末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「神奈川県入込観光客数調査」において計測される、各関係観光施設（小田原城址公園ほか）の年間入場者数の合計値</td> <td>2,487,456人/年 (平成21年実績)</td> <td>—</td> <td>2,585,034人/年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>「小田原市主要商店街流動客数調査」において計測される、小田原駅周辺各商店街の流動客数の合計値</td> <td>187,033人/日 (平成21年度実績)</td> <td>—</td> <td>199,858人/日</td> <td></td> </tr> <tr> <td>「神奈川県勢要覧」において公表される、小田原駅の乗車人員数（年間数値を1日当たりに換算）</td> <td>96,313人/日 (平成20年実績)</td> <td>—</td> <td>97,085人/日</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>												定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H23当初)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H27末)	「神奈川県入込観光客数調査」において計測される、各関係観光施設（小田原城址公園ほか）の年間入場者数の合計値	2,487,456人/年 (平成21年実績)	—	2,585,034人/年		「小田原市主要商店街流動客数調査」において計測される、小田原駅周辺各商店街の流動客数の合計値	187,033人/日 (平成21年度実績)	—	199,858人/日		「神奈川県勢要覧」において公表される、小田原駅の乗車人員数（年間数値を1日当たりに換算）	96,313人/日 (平成20年実績)	—	97,085人/日	
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																														
	当初現況値 (H23当初)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H27末)																															
「神奈川県入込観光客数調査」において計測される、各関係観光施設（小田原城址公園ほか）の年間入場者数の合計値	2,487,456人/年 (平成21年実績)	—	2,585,034人/年																															
「小田原市主要商店街流動客数調査」において計測される、小田原駅周辺各商店街の流動客数の合計値	187,033人/日 (平成21年度実績)	—	199,858人/日																															
「神奈川県勢要覧」において公表される、小田原駅の乗車人員数（年間数値を1日当たりに換算）	96,313人/日 (平成20年実績)	—	97,085人/日																															
全体事業費	合計 (A+B+C)	4,525 百万円	A	3,104 百万円	B	1,399 百万円	C	22 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)		0.5 %																							
交付対象事業																																		
A 基幹事業																																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考																			
1-A-1	再開発	一般	小田原市	直接 間接	小田原市、民間企業	小田原駅周辺地区暮らし・にぎわい再生事業	商業・業務、公共・公益、駐車場施設等—1.1ha	小田原市	H23	H24	H25	H26	H27	3,104	別添1																			
									合計					3,104																				
B 関連社会資本整備事業																																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考																			
1-B-1	道路	一般	小田原市	直接	小田原市	お城通り緑化歩道整備事業	緑化歩道整備 幅員2.5m 延長250m 歩行者滞留部 幅員7～9m	小田原市	H23	H24	H25	H26	H27	1,275																				
1-B-2	道路	一般	小田原市	直接	小田原市	駐車場施設整備に伴う道路整備事業	用地買収 約84㎡ 道路整備 幅員約9m 延長約160m	小田原市	H23	H24	H25	H26	H27	124																				
									合計					1,399																				
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考																							
1-B-1	小田原駅と小田原城址とを結ぶお城通りに、緑化歩道を整備し、安全で快適な歩行空間を確保し、中心市街地の回遊性の向上を図るとともに、歴史的景観の中ににぎわいのある中心市街地の形成を図る。																																	
1-B-2	駐車場施設（暮らし・にぎわい再生事業）に隣接する道路を整備し、周辺道路における駐車場施設入庫待ち車両による渋滞発生を防止、交差点改良によって歩行者の安全性を確保するとともに、中心市街地の回遊性の向上を図る。																																	
C 効果促進事業																																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考																			
1-C-1	施設整備	一般	小田原市	直接	小田原市	清閑亭保存整備活用事業	歴史的な建造物の改修。庭園や周辺環境などの一体的な整備及び活動支援	小田原市	H23	H24	H25	H26	H27	5.0																				
1-C-2	施設整備	一般	小田原市	直接	小田原市	松永記念館整備活用事業	施設内の老櫓荘・葉雨庵など歴史的な建造物の改修。庭園や周辺環境などの一体的な整備	小田原市	H23	H24	H25	H26	H27	6.9																				
1-C-3	施設整備	一般	小田原市	直接	小田原市	情報案内板設置事業	情報案内板を設置	小田原市	H23	H24	H25	H26	H27	3.9																				
1-C-4	施設整備	一般	小田原市	直接	小田原市	案内サイン新設・改修事業	地下街施設への案内サインの新設及び既存案内サインの改修	小田原市	H23	H24	H25	H26	H27	6.7																				
									合計					22																				
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考																							
1-C-1	歴史的建造物を観光施設として改修、庭園など一体的に整備することにより観光客や地域住民の交流の場としてだけでなく観光情報の発信や文化伝統を紹介し、交流人口の拡大につなげる。																																	
1-C-2	歴史的建造物を観光施設として改修、庭園など一体的に整備することにより観光客や地域住民の交流の場としてだけでなく観光情報の発信や文化伝統を紹介し、交流人口の拡大につなげる。																																	
1-C-3	主要な歩行導線となる箇所に、地域内に点在する歴史・文化的遺産や、観光資源、公共施設などの情報を案内し、来訪者の利便性と交流・回遊性の向上を図る。																																	
1-C-4	中心市街地の回遊拠点となる地下街施設に、誘客、誘導するための案内板を設置し、来訪者の利便性と交流・回遊性の向上を図る。																																	

(参考図面) 市街地整備

計画の名称	小田原の豊かな地域資源を生かした、まちのにぎわいと回遊性の向上		
計画の期間	平成23年度 ～ 平成27年度 (5年間)	交付対象	小田原市



(詳細箇所参考図面)



社会資本整備総合交付金チェックシート

(第4回変更時)

計画の名称: 小田原の豊かな地域資源を生かした、まちのにぎわいと回遊性の向上 (市街地整備分野)

事業主体名: 小田原市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①上位計画等との適合等	
1) 時代環境を踏まえたものとなっている。	○
2) 交付金制度の趣旨に適合している。	○
3) 上位計画や従前の計画等と整合性が確保されている。	○
②地域の課題への対応	
1) 地域の課題や特性を踏まえて計画の目標が設定されている。	○
2) 目標は、達成の必要性が高いものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
4) 関連事業を効果的に組み合わせている。	○
④事業の効果	
1) 十分な事業効果が確認されている。	○
2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意	
1) まちづくりに向けた機運がある。	○
2) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
⑥円滑な事業執行の環境	
1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
2) 住民・民間事業者等の協力姿勢がある。	○
3) 計画期間中は適切に進行管理を実施し、必要な見直しを行う予定である。	○